

安全データシート

改訂日:2021年8月23日

1. 化学品及び会社情報 化学品の名称(製品名) 会社名 住所 担当部門 電話番号 FAX番号 整理番号	チモールフタレイン 米山薬品工業株式会社 大阪市中央区道修町2丁目3番11号 品質保証室 (06)6393-4001 (06)6396-7714 DB0229
2. 危険有害性の要約 GHS分類	全ての項目で「区分外」、「分類対象外」又は「分類できない」
3. 組成、成分情報 化学品・混合物の区別 化学名又は一般名 別名 化学式 化学物質を特定できる一般的な番号 濃度又は濃度範囲(含有率) 官報公示整理番号(化審法/安衛法) その他	化学品 チモールフタレイン - $C_{28}H_{30}O_4$ CAS RN: 125-20-2 - 該当情報なし。 HSコード: 2932.20
4. 応急措置 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合 飲み込んだ場合	鼻をかみ、うがいさせる。水でよく口の中を洗浄する。医師の手当を受ける。 製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹼を用いて十分に洗浄する。痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。 速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行う。直ちに医師の手当を受ける。 直ちに医師の手当を受ける。意識がある場合には、食塩水等を飲ませて吐かせる。
5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の措置に関する特有の危険有害性 特有の消火方法 消火を行う者の保護	周辺火災に適した消火剤を用いる。 水噴霧、粉末消火剤、泡末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂 該当情報なし。 該当情報なし。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策(局所排気、全体排気) 安全取扱い注意事項 接触回避 衛生対策 保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料	漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵(蒸気)を発生させない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。 該当情報なし。 使用後は手をよく洗うこと。 直射日光を避け、換気の良い涼しい場所に密封して保管する。 ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度(出典) 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH	未設定 未設定 未設定

設備対策		取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。
保護具		防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		結晶性粉末
色		白色またはわずかに黄色
臭い		該当情報なし。
融点・凝固点		246～247℃(融点)
沸点、初留点及び沸騰範囲		該当情報なし。
燃焼性(固体、気体)		該当情報なし。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限		該当情報なし。
引火点		該当情報なし。
自然発火温度		該当情報なし。
分解温度		240.8℃
pH		該当情報なし。
溶解度		熱エタノールに易溶、アルカリに可溶、水に非常に難溶
n-オクタノール/水分配係数		該当情報なし。
蒸気圧		該当情報なし。
蒸気密度		該当情報なし。
蒸発速度		該当情報なし。
粘度(粘性率)		該当情報なし。
比重(相対密度)		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性		通常の取り扱いに於て安定。
化学的安定性		該当情報なし。
危険有害反応可能性		該当情報なし。
避けるべき条件		該当情報なし。
混触危険物質		酸化剤
危険有害な分解生成物		一酸化炭素、二酸化炭素
11. 有害性情報		
急性毒性		該当情報なし。(分類できない。)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		該当情報なし。(分類できない。)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		該当情報なし。(分類できない。)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。(分類できない。)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない。)
発がん性		該当情報なし。(分類できない。)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない。)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		該当情報なし。(分類できない。)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		該当情報なし。(分類できない。)
吸引性呼吸器有害性		該当情報なし。(分類できない。)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。(水生生物有害性は分類できない。)
	長期: (慢性)	該当情報なし。(水生生物有害性は分類できない。)
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	
参考文献	化学大辞典(共立出版社) 16615 の化学商品(化学工業日報社) GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会)
その他	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。